

令和 2 年 7 月 13 日
令和 6 年 2 月 2 日改訂
気象庁大気海洋部

配信資料に関する仕様 No. 30103

～海上高層気象観測データ～

気象庁では、海上気象観測所（観測船等）による高層気象観測について、特異点や指定気圧面等の観測データで構成する「海上高層実況気象報（TEMP-SHIP、PILOT-SHIP）」を配信しています。

また、数秒間隔の鉛直方向のデータや、ラジオゾンデの移動に伴う位置（緯度・経度）及びそれに対応する観測時刻の情報で構成される「高分解能海上高層実況気象報（BUFR）」を配信しています。

1. 海上高層実況気象報の仕様

資料の名称	海上高層実況気象報（国内、編集報）
観測要素	各観測所のラジオゾンデ観測値（気圧、高度、気温、気温と露点温度の差、風向・風速等）及びメタデータ
電文の形式	A/N
配信時刻	随時
電文ヘッダ	U@VX01 (@=E、K、L、P、S) / UGVX20
フォーマット	FM36 TEMP SHIP－海上高層実況気象通報式 FM33 PILOT SHIP－海上高層風実況気象通報式 詳細は、最新の国際気象通報式を参照してください。

2. 高分解能海上高層実況気象報の仕様

資料の名称	高分解能海上高層実況気象報（国内、単体報）
観測要素	各観測所のラジオゾンデ観測値（放球点からの緯度・経度変位、気圧、高度、気温、露点温度、風向・風速等）及びメタデータ
電文の形式	バイナリ
配信時刻	随時
電文ヘッダ	IU#C8i（#=K, S、i=0, 1） / IUSX40
フォーマット	FM94 BUFR—二進形式汎用気象通報式 観測要素の国際標準 BUFR テンプレートについては別紙 1 を参照してください。

海洋気象観測船（凌風丸・啓風丸）では、ラジオゾンデが 100hPa に到達した時点で、放球点から 100hPa までのデータを格納した IU[K, S]C8i を通報し、観測終了時点で、放球点から観測終了までのすべてのデータを格納した IUSC8i を通報します。

電文ヘッダと船舶との対応は下表のとおりです。

電文ヘッダ	船舶
IU[K, S]C80	凌風丸
IU[K, S]C81	啓風丸
IUSX40	（上記以外）

【改訂履歴】

○令和 6 年 2 月 2 日

「配信資料に関する技術情報第 618 号～表参照通報式の高分解能海上高層実況気象報の提供開始について～」に関する記述を追加。